

革新的技術開発

平成23年度三次補正予算額 149.9億円

産業技術環境局 研究開発課
03-3501-9221

事業の内容

事業の概要・目的

- 製造業の空洞化、海外企業の日本離れを防ぐため、電力の安定供給を確保することは重要です。
- 我が国のエネルギー効率は、世界最高水準となっておりますが、東日本大震災による電力需給問題の顕在化を踏まえ、中長期的には革新的技術開発による一層の省エネ化等を推進する必要があります。
- 従来の発想を覆す最先端の省エネ技術等により、エネルギーを効率的・効果的に活用する社会を実現すると同時に、我が国の次世代の成果に繋がります。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

○低炭素社会を実現する超低電力デバイスプロジェクト

IT機器等の省エネ化のためのコア技術である半導体微細加工技術、新構造・新材料のデバイス等を開発。



次世代の超低電力エレクトロニクス機器の実現

○低炭素社会を実現する超軽量・高強度革新的融合材料プロジェクト

軽量、高強度、電気・熱の高伝導性等、多くの優れた特性を持つカーボン材料を用いた革新的機能材料を開発し、太陽光発電、風力発電、蓄電池の部材等に応用して、より効率的な再生可能エネルギー利用、省エネルギー化を実現。

